



年間報告書 2022

熊本大学基金



熊本大学基金に関するお問い合わせ

熊本大学 基金・同窓会事業室

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1
TEL 096-342-3129、2029 FAX 096-342-3280
E-mail kik-doso@jimu.kumamoto-u.ac.jp
U R L <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>



ファンドレイザー
田村 安都子

Tel.096-342-3804 FAX.096-342-3280
a-tamura@jimu.kumamoto-u.ac.jp



ごあいさつ



学長
小川 久雄

地域と世界に開かれ、共創を通じて社会に貢献する教育研究拠点大学

熊本大学は、第五高等学校、熊本師範学校、熊本医科大学、熊本薬学専門学校、熊本工業専門学校などを母体とし、昭和24年(1949年)に新たな総合大学として設置されて以降、人文社会科学、自然科学及び生命科学の各分野において、学術研究の発展と社会貢献に取り組んできました。

社会に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」に変更され、日常生活も少しずつ元に戻りつつあります。本学は、研究力の更なる向上、産学連携と地方創生の強化、そして国際化を重点的に推し進め、その成果を大学の最も重要な使命である教育に活かしながら、個性ある創造的人材の育成に努めて参ります。

これらの推進には、安定した財政基盤が必要不可欠ですが、平成19年(2007年)10月に熊本大学基金を設立し、多くの皆様からご支援を賜り、これまで学生の留学、課外活動の支援や学内建物の整備など多岐にわたる事業に充当させていただいています。また、生活に困窮している学生への奨学給付金等の経済支援にも活用しています。改めて御礼申し上げます。

本学は、令和5年4月に半導体分野及びその他関連分野に関する先端研究並びに高度人材育成の推進を目的として「半導体・デジタル研究教育機構」を設置しました。そして、令和6年度には、学生が所属する新しい学部組織として「情報融合学環」を設置する構想を掲げています。

これからも皆様の期待と社会からの要請に応えるべく、教職員一丸となって教育、研究、社会貢献・国際貢献に取り組むとともに、地域の教育研究拠点として教育、文化及び産業の発展に寄与して参ります。

引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



理事・副学長
大谷 順

高まる大学基金の重要性

令和5年度より基金同窓会担当を仰せつかりました、研究・グローバル戦略・キャンパスミュージアム担当理事・副学長を務めています大谷順と申します。

私は国内外を含め6つの大学に在籍した経験があります。海外の大学はもちろんですが、わが国のいわゆる国立大学法人も現在基金についてはどこも積極的に進められており、全学的な教育・研究また施設等の充実に向けて大変重要な施策となっています。加えて、「クラウドファンディング」も広く実施されており、熊本大学でも今年度よりこの制度を積極的に推進します。熊本大学はご存じのように歴史が古く、五高記念館を始めとする国の重要文化財を所有しており、それらを核とした「キャンパスミュージアム構想」を進めており、この基金も益々重要になっています。

今後とも社会に開かれた大学を目指して活動していく所存ですが、是非多くの方の熊大基金へのご理解とご鞭撻、よろしくお願い申し上げます。

熊本大学基金実績

熊本大学基金は、熊本大学が地域社会と共同し、知の創造、継承、発展を通じて豊かな未来を拓くことを目的として、平成19年(2007年)に設立されました。これまで多くの皆様からご支援を賜り、留学支援、課外活動支援、学内建物の整備など多岐にわたる事業に充当させていただきました。

今後も皆様から頂戴した貴重なご寄附は、全学的な事業や各学部等の支援事業などを通じて、熊本大学の教育・研究環境の更なる改善・発展に活用させていただきます。

令和4年度は、個人362名、63法人・団体より
総額98,174,921円のご寄附を頂戴しました。

一般資金	57件	9,185,845円
特定資金※	368件	88,989,076円
寄附総額	425件	98,174,921円

※使途を特定した寄附金

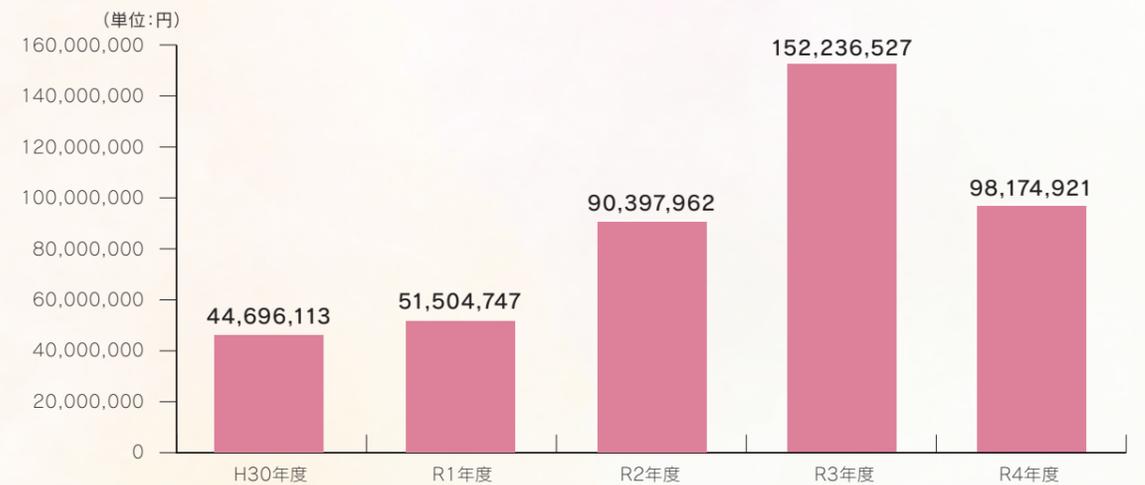
◆寄附累計額

(単位:円)

H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
1,412,644,397	1,464,149,144	1,554,547,106	1,706,783,633	1,804,958,554

◆平成30年度～令和4年度 基金収入状況比較

寄附金額



(単位:円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
寄附金額	44,696,113	51,504,747	90,397,962	152,236,527	98,174,921

学内食料支援

第5弾

コロナ禍によるアルバイトの制限や世帯収入の減少など、経済的困難を強いられている学生への支援として、熊本大学生協及び恵和会の対象メニューまたは商品(食品に限る)を200円引きで提供する「食の支援」を実施しました。皆様からいただいたご寄附、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)からの補助金及び熊本大学生協のご協力により、令和4年7月4日～29日、10月3日～11月22日の2回の期間中に、全学で計10,500食の支援を行うことができました。

- ◆ 実施期間: 第1期 令和4年7月4日(月)～29日(金)
第2期 令和4年10月3日(月)～11月22日(火)

- ◆ 対象: 新型コロナウイルス感染症の感染拡大やウクライナ情勢など緊迫した国際情勢による物価の高騰により経済的に困窮している学生

- ◆ 実施方法: 生協及び恵和会の対象メニューまたは商品(食品に限る)を税込み価格から200円引きで提供(利用は1回/日、複数日の利用可)

学生から寄せられた感謝の声

- ◆ 今年から一人暮らしになり、なるべく食費を抑えたいと思いつつも、栄養不足で病気になることが懸念され悩んでいました。こういった支援によって、より食が豊かになり、朝ご飯も朝からしっかりと取ることができ、とてもありがたかったです。
- ◆ 勉強に手一杯かつ感染が不安でアルバイトに手をつけられない状態なので、こういった支援が本当にありがたいです。
- ◆ 物価高もあり、非常にありがたいです。今後もあれば利用したいです。
- ◆ 非常にありがたかったので、今後も行って欲しいです。

※上記のほか、熊本大学生協より535食分(107,000円分)の支援があった。 ※実施後moodleにてアンケートを行った。(回答数261)



第6弾

令和5年1月31日黒髪北地区体育館において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や物価の高騰により経済的に困窮している学生を対象に、食料支援を行いました。皆様からいただいたご寄附と地元企業様のご協力により、500名の学生に食料品を配布することができ、学生からは感謝の声が数多く寄せられました。

- ◆ 実施日: 令和5年1月31日(火)(補講日)
- ◆ 対象: 経済的に困窮している学生
- ◆ 実施方法: 食料の無料配付
(賞味期限が近い本学の災害備蓄品も併せて配付)

学生から寄せられた感謝の声

- ◆ 勉強が忙しくなっており、バイトをやめたのですが、仕送りは教科書、家賃でほとんど消えてしまっているため、食料支援本当にありがたいです。
- ◆ 常に食料が尽きている状態だったのでとてもありがたかったです。大切にいただきます。ありがとうございました。
- ◆ 今回もとても役に立つ支援をしていただきありがとうございました。食料品は生活をする上で絶対必要なものなのでこのような支援があつて本当に良かったです。また、支援があつたらぜひ利用したいと考えています。
- ◆ コロナ禍でバイト先がなくなっていたのでとても助かりました。本当にありがとうございました。

※当日キャンセル分は、学生寮や学生生活課にて配付した。 ※実施後moodleにてアンケートを行った。(回答数 232)



医学教育部教育研究支援事業 (柴三郎プログラム)

北里柴三郎博士のように世界で活躍する医学研究医師を育成することを目的として、これまで様々な事業に取り組んでまいりました。

令和4年度には、新たに柴三郎プログラム生が1名入学(現在の柴三郎プログラム在学学生は5名)し、プレ柴三郎先取履修生は6名が採用されました。柴三郎Jr.生では6名の高校生を受け入れています。その中で、柴三郎プログラム生には奨学金を支給し、医学科生には学会発表の旅費支援を行うなど、研究活動に励む医学生への支援を継続して実施しています。

その他にも高校生向けの夏期セミナーや柴三郎プログラムセミナーを開催するなど積極的に活動を行っています。

令和4年度実施イベント

- (1) 医学科1・2年生向け柴三郎プログラムラボツアー(5月～8月実施)
- (2) 高校生向け柴三郎夏期セミナー(8月18日実施)
- (3) 西日本医学生学術フォーラム参加(12月17日、岡山大学にて)
※令和5年度は本学が主催
- (4) 柴三郎プログラムセミナー(1月30日実施)
講師: 古瀬祐気先生
(長崎大学医学部/大学院医歯薬学総合研究科ウイルス学分野/教授)
演題: 「ウイルス感染症を細胞レベルから世界レベルまで考えてみる
—WHOやクラスター班にも従事する医学者のお話—」
- (5) プレ柴三郎研究発表会(3月27日実施)



支援

- (1) 柴三郎プログラム大学院生奨学金(3名分)
- (2) 教育活動支援(学会発表等)(6件分)
- (3) 柴三郎Jr.研究活動時の傷害保険(5名分)
- (4) プレ柴三郎研究発表会(3月27日実施)



【オンライン版】柴三郎夏期セミナー
(令和4年8月18日実施)

第12回柴三郎プログラムセミナー
(令和5年1月30日実施)



病院診療教育研究支援事業

令和4年度に事業を開始した「病院診療教育研究支援事業」において、事業の一環である「患者サービス向上の環境整備」への取組として、来院された患者様の気持ちを和らげられるよう、病院管理棟前の防災広場脇の歩道に緑化のためのプランター18基を設置しました。本プランターに植栽している草花は、季節に応じて不定期に植え替えていくことを予定しています。

今後も、本院を利用される皆様が心身ともに心地よい医療サービスが受けられる快適な病院環境づくりに取り組んでいきます。





第1回スケッチ大会を開催

熊本大学教育学部・熊本大学大学院教育学研究科主催の「第1回熊本大学スケッチ大会」を令和4年11月12日、黒髪キャンパスにて開催しました。熊本市内および熊本市近郊の中学生を対象に、重要文化財『五高記念館』などの秋の



風景をスケッチするイベントで、当日はお天気にも恵まれ、71名の参加がありました。スケッチ大会には、熊本県内のアーティスト約20名にもお越しいただき、一緒にスケッチをしたり、アドバイスをさせていただきました。中学生からは「時間が足りなかった。」「楽しかった。来年もぜひ参加したい。」「他校中学生、アーティスト、大学生と交流ができて良い機会だった。」などの感想が多数寄せられました。

なお、審査の結果、最優秀作品(美連賞)には熊本市立の中学1年生の作品が選ばれ、優秀作品8点とともに開催に協力いただいた肥後銀行の2つの支店に11月16日から1ヶ月間展示しました。

アートギャラリーサテライト展 Vol.1

熊本大学アートギャラリーは、熊本に溢れている魅力的な芸術作品の有効活用を果たし、芸術活動の推進と社会への還元を図る事業として、熊本県内の芸術家や学生から寄贈・寄託いただいた「熊大アートバンク」のコレクションを学校や公共施設、ホール、企業等へ展示を行います。令和4年度は、包括連携協定を締結している肥後銀行本店の里山ギャラリーに於いて、サテライト展を実施いたしました。今後も社会での芸術鑑賞の環境づくりに貢献して参ります。



五高記念館に募金箱を設置しました

五高記念館の環境整備を目的として、令和4年7月から五高記念館の入口に募金箱を設置しています。多くの方からご協力をいただき、募金総額は94,956円(令和5年3月末現在)となりました。

皆様からお寄せいただきましたご厚意は、五高記念館の運営及びその周辺環境整備等に活用させていただきます。引き続き、皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

- ◆ 入館料: 無料
- ◆ 開館時間: 午前10時～午後4時(※但し入館は午後3時30分まで)
- ◆ 休館日: 毎週火曜日 年末年始 その他(※詳細は五高記念館Webサイトにてご確認ください)
- ◆ WEBサイト: <http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/>



サークルへのご寄附に関する御礼



馬術部

昨年度も過分なるご寄附をいただきまして、誠にありがとうございます。皆様からのご支援により昨年度も活動できましたこと、部員一同深く感謝しております。皆様からのご厚意は、定期練習時の交通費、毎月の装蹄代として活用させていただきました。今後とも馬術部への温かいご支援どうぞよろしくお願い申し上げます。

応援団

[リーダー部]

こんにちは、熊本大学体育会応援団リーダー部です。私たちは近年部員減少に悩まされながらも、日々頑張る皆様を応援させていただいております。部員が少ないため、ご寄附があることで、より部活動に集中できる環境を整えていただいております。ありがとうございます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



[チアリーディング部]

私たちは、紫熊祭や入学式での演技、大会参加の他、部活動応援なども行っています。昨年度は、大会の移動費としてご寄附を利用させていただきました。部員一同大変感謝しています。更に成長した姿をお見せできるよう、これからも頑張っていきます!

本大学公認サークルとして72団体が活動中です。学生へのご支援をお待ち申し上げます。

クラウドファンディングをはじめます! ～夢の実現にご支援を～

このたび熊本大学では、教育・研究、社会貢献、国際交流、学生団体等のプロジェクト資金をインターネットで募る「クラウドファンディング」を創設いたしました。

今後、教職員や学生等が成し遂げたい夢・活動を発信して参りますので、想いに共感し応援したいというプロジェクトがございましたら、温かいご支援をお願い申し上げます。

詳細は、熊本大学基金ホームページをご覧ください。

◆ WEBサイト: <https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/kinds/kind06/>



クラウドファンディングとは?

インターネットを利用して事業の内容を発信し、共感を得た不特定多数の支援者から当該事業の経費として、寄附(資金)を募るシステムです。

ご寄附をいただいた企業様の想い

※会社名の五十音順・敬称略にて掲載させていただきます。

医療法人伊東会 伊東歯科口腔病院

【住所】 熊本県熊本市中央区子飼本町4番14号 【ホームページアドレス】 <https://www.itoh-dh.or.jp/>

新型コロナウイルス感染症はようやく縮小方向に向いておりますが、尚予断を許さない状況にあり、また少子化の影響で今後学生数確保も課題です。私どもの寄附が少しでも課題克服の一助になれば幸いです。



いのうえ眼科

【住所】 熊本県合志市須屋672-7

わたしは、高校以外、幼稚園から大学院まで熊本大学で教育を受け、附幼山本先生、附小永池先生、附中規工川先生、大学院宇宿教授など、素晴らしい先生方に出会えて幸運でした。小川学長のもと、熊本大学の大きな発展を祈念しています。



医療法人社団英山会 平山泌尿器科医院

【住所】 熊本県熊本市北区八景水谷1-24-32 【ホームページアドレス】 <https://www.eizankai.com/>

今回の寄附が学生さん達のお役に立てば幸いです。引き続き、学問に精進されてください。



一般財団法人化学及血清療法研究所

【住所】 熊本県熊本市中央区花畑町4-7 朝日新聞第一生命ビル11階 【ホームページアドレス】 <https://www.kaketsuken.org/>

未来を拓くのは常に若い人達です。2100年を見ることが出来る人達、22世紀に活躍する人達のため、少しの寄附でもモニユメントの清拭でも良いので、先輩の我々ができることを積小為大の精神で一歩を踏み出しましょう。



カンセイコンサルタント株式会社

【住所】 熊本県熊本市中央区出水6-5-6 【ホームページアドレス】 <http://kansei.ne.jp/>

熊本大学の益々の発展に期待しています。寄附金は有効に活用して頂きたいと思っています。今後も出来る限り、寄附は継続していきたいと思っています。



九州産交グループ[九州産交リテール株式会社]

【住所】 熊本県熊本市中央区花畑町4-3 太陽生命熊本ビル8階 【ホームページアドレス】 <https://www.kyusanko.co.jp/>

地域貢献に努めている九州産交グループとして、熊本、そして日本の未来を担う学生の皆様にお力添えが出来ていれば幸いです。これからも心より応援しています。



KMバイオロジクス株式会社

【住所】 熊本県熊本市北区大塚1-6-1 【ホームページアドレス】 <https://www.kmbiologics.com/>

弊社は、2022年2月に熊本大学と包括的連携協定を締結いたしました。今後も、学術と科学技術の高度化を図り、研究開発及び人材育成の推進、並びに国際・地域貢献の強化に向け取り組んでまいります。この度の寄附が学生の皆様の一助となれば幸いです。



有限会社坂本石灰工業所

【住所】 熊本県玉名市下273-1 【ホームページアドレス】 <https://sakamoto-lime.com/new/>

企業、特に中小企業にとって地域との関係は特別なものであり、だからこそ地域での役割を常に果たすよう心掛けることの大きさを痛感します。寄附はその一環です。学生さんの成長に役立ててください。



三の宮内科泌尿器科医院

【住所】 熊本県熊本市北区龍田1-16-1 【ホームページアドレス】 <http://3nomiya.sakura.ne.jp/>

黒髪、本荘キャンパスで学んだ学生時代、研修医、医局での希望、喜び、失意の中での約20年間在籍した熊本大学。最近の小川学長をはじめとする果敢な施策、研究成果や情報発信には快哉を叫びたい想いです。



そのだ脳神経外科 消化器内科

【住所】 熊本県熊本市東区画図町所島135-1 【ホームページアドレス】 <https://www.sonoda-clinic.com/>

小川久雄学長と初めて会ったのは50年前、昭和48年私が熊本大学に入学し医学部準硬式野球部に入部した時で、私は小川先生の1年後輩になります。それ以来のお付き合いで、これからも小川学長を応援していきます。



堤化学株式会社

【住所】 熊本県熊本市北区大塚2-8-6 【ホームページアドレス】 <https://tsutsumi-chem.co.jp/>

地域になくはならない企業でありたいと思っています。熊本大学のさらなる発展を祈ります。



東京エレクトロン九州株式会社

【住所】 熊本県合志市福原1-1 【ホームページアドレス】 <https://www.tel.co.jp/>

学生の皆さんが将来に希望を持ち、夢と活力をもった大学生活を過ごされるよう、これからも応援していきます。



株式会社肥後銀行

【住所】 熊本県熊本市中央区練兵町1番地 【ホームページアドレス】 <https://www.higobank.co.jp/>

貴学との連携協定に伴い、肥銀イノベーション応援プログラムなど「産学官金」連携による様々な取組を実現できたこと大変有り難く思っております。今後も貴学と連携し、地域課題解決に繋がる取組を学生や研究者の皆様と取り組んでまいりたいと思います。



株式会社双葉金属

【住所】 熊本県熊本市北区改寄町1004-9 【ホームページアドレス】 <https://www.futabam.co.jp/>

未来へ向かうみなさんへ
「本気ですのなら、大抵のことはできる。」「本気ですのなら、何でも面白い。」
「本気ですのなら、だれかが助けてくれる。」
(正範語録より)



株式会社明和不動産

【住所】 熊本県熊本市中央区幸島町4-35 【ホームページアドレス】 <https://www.meiwa.jp/>

微力ながら本年も寄附を継続させて頂きました。熊本大学の皆さんが実りある学生生活を送る為の一助となれば幸いです。よりよい未来を創造して行く人材への支援に繋がる事を祈念しております。



熊本大学基金による大学事業

熊大への寄附は3本柱です



※税制優遇措置が適用されます。

1 全ての事業

「全ての事業」への寄附金は用途を特定せず「全学事業」「学部・教育部等教育研究支援事業」やその他の必要な事業に充てられます。



2 全学事業

- 修学支援事業
- 地域貢献・社会貢献活動事業
- 附属図書館支援事業
- 新型コロナウイルス支援基金学生支援事業
- 教育・学生支援事業
- キャンパスミュージアム事業
- 五高記念館周辺環境整備事業
- 新型コロナウイルス支援基金研究支援事業
- 国際共同協力事業
- キャンパス環境整備事業
- 文書館支援事業
- 肥後未来共創基金
- 研究助成事業
- 永青文庫史資料整備事業

Pick up 修学支援事業

修学支援事業は、経済的な理由で修学が困難な学生に対して、修学に必要な経済的支援を行うことを目的としています。意欲と能力がある学生が希望する教育を受けられるよう修学支援金として活用します。対象となる事業は、次のとおりです。

- 授業料、入学料及び寄宿料の全部または一部を免除する事業
- 学資金を貸与、または支給する事業
- 学生の留学に係る費用を支援する事業
- 学生の資質を向上させることを目的として、学生を教育研究に係る業務に雇用する経費を支援する事業

※優遇性の高い税額控除が適用できます。

3 学部・教育部等教育研究支援事業

- 武夫原教育・研究支援基金
- 教育学部音楽棟大型改修及び実習工場改築事業
- 薬学部キャンパス薬草パーク事業
- 文学部教育研究支援事業
- 理学部教育研究支援事業
- 薬学部熊本ファーマバレー事業
- 法学部教育研究支援事業
- 医学部医学科教育研究支援事業(くま医もん基金)
- 工学部教育研究支援事業
- 社会文化科学教育部教育研究支援事業
- 医学教育部教育研究支援事業(柴三郎プログラム)
- 自然科学教育部教育研究支援事業
- 教育学部教育研究支援事業
- HIGOプログラム教育研究支援事業
- 発生医学研究所教育研究支援事業
- 教育学部附属学校園教育支援事業
- 医学部保健学科教育研究支援事業
- 病院診療教育研究支援事業
- 教育学部ましきプロジェクト事業
- 薬学部教育研究支援事業

Topic's 注目事業

キャンパスミュージアム構想

熊本地震で大きな被害を受けた4つの重要文化財の復旧工事が令和3年(2021年)末に完了したことに伴い、熊本地震からの再興の象徴として、自然と歴史に満たされた熊本大学を一大キャンパスミュージアム化するため、「キャンパスミュージアム構想」を推進しています。

このキャンパスミュージアムは、地域だけでなく海外にも開放・開示することにより、世界の人々の歴史・文化・伝統の理解と学習に貢献し、教育と文化の発展に寄与することを目指しています。

キャンパスミュージアム構想 今後の予定

- シンポジウム開催
- 動画制作
- 展示企画(恐竜展・マンガ展)
- ホームページ拡充 等



ギャラリートーク



五高記念館竣工記念写真展



熊本大学五高記念館所蔵 撮影:星野雅俊

令和5年4月1日 半導体・デジタル研究教育機構を設置

熊本大学では、大学院先端科学研究部附属半導体研究教育センター・教授システム学研究センター・総合情報統括センターを統合し、令和5年4月1日に半導体・デジタル研究教育機構(専任:21名)を設置しました。

本機構の設置により、学内の半導体・デジタル分野の研究体制を一層強化し、所属する研究者は令和6年度に設置を計画する「情報融合学環」・「工学部半導体デバイス工学課程」での教育を担うことで、熊本地域における半導体企業の進出と集積により求められる半導体人材育成とデジタル化に対応したイノベーション人材の育成を行います。



クリーンルーム



除幕式の様子

税制上の優遇措置

(1) 個人様

1. 所得税の軽減

「熊本大学基金」への寄附金については、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金(所得税法第78条第2項第2号)として財務大臣から指定されています。寄附金の額が年間合計で2千円を超える場合、寄附金額(総所得金額の40%が上限)から2千円を差し引いた額が課税所得から控除されます。



また、平成28年度の税制改正により、国立大学法人等が実施する「修学支援事業」に対するご寄附については、これまでの「所得控除」に加え「税額控除」の適用対象となりました。

本学の「修学支援事業」へのご寄附は上記に該当いたしますので、確定申告の際に、寄附者様において、所得控除または税額控除、いずれか一方の制度を選択いただけるようになります。



2. 住民税の軽減

お住まいの自治体の条例で、本学が「寄附金税額控除対象法人」に指定されている場合は、個人住民税の優遇措置が適用されます。詳細は、お住まいの都道府県及び市区町村の税窓口にお問い合わせください。

(2) 法人・団体様

本学は、財務大臣から、指定寄附金(法人税法第37条第3項第2号)の指定を受けていますので、全額を事業年度の損金に算入することができます。

ファンドレイザーを配置しました

熊本大学基金をより多くの皆様に知っていただくために、令和2年(2020年)7月からファンドレイザーを配置しました。継続的な学生支援・研究推進のための財源確保を行うことを目的とし、熊大サポーターの輪を広げるために活動しています。



ファンドレイザー
田村 安都子

これまでの経験や人脈等を生かし、ファンドレイザーとして、熊本大学のサポーターの輪を広げる活動をしています。熊本大学と、ご支援くださる皆様とをつなぎ、熊本大学の発展に貢献してまいり所存です。今後とも、あたたかいご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ファンドレイザーとは?

団体などのファンドレイジング(資金調達)を専門に行う職業のことです。その仕事内容は、資金調達だけに留まらず、営業や広報、マーケティングなど多岐に渡り、「大学」と「大学のビジョンや活動内容に共感し、それを応援したい方々」とをつなぎ、関係者の輪を広げていく役割も担っています。

寄附について

● 遺贈による寄附制度

資産の一部を、将来、遺言によりご寄附されたいという方への制度がございます。制度のご利用を希望される場合は、本紙「お問い合わせ先」までご連絡ください。

● 古本募金



本募金は皆様の読み終えた本や不要になったCD・DVD・ゲーム機を、大学が提携する取扱業者にお送りいただき、その売り上げを大学への寄附金として募金していただくものです。寄附金は、学生の教育活動への支援金として役立させていただきます。

<https://www.charibon.jp/partner/kumamoto-u/>



● ご寄附の方法

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp/howto/>



Webサイトの「寄附申込フォーム」で必要事項をご入力の上、お申込いただけます。最後の画面でお振込先が表示されますので、そちらの口座までお振り込みください。
 ※別途お振込の手続きが必要になります。



Webサイトから「寄附申込書」をダウンロードして記入後、郵送、FAXまたはメールでお送りください。折り返し、「払込用紙」をお送りいたします。
 ※ゆうちょ銀行以外でのATMからのお振込は出来ません。



Webサイトの「クレジットカードによるご寄附のフォーム」で必要事項をご入力の上、お申込みください。
 ※クレジット会社を経由するため大学への入金は約1~1.5ヶ月後となります。

【クレジットカードによるご寄附について(ご注意)】

確定申告時に必要となります「寄附金領収書」に記載する日付は大学への入金日となりますので、予めご承知ください。特に、11月~12月にクレジットカードによるご寄附をされる場合、「寄附金領収書」の日付が翌年となる場合がありますので、ご注意ください。

● ご寄附の流れ



Web サイトについて

基金に関する情報は、Webサイト上で随時更新しています。ご寄附の方法や各事業の詳細については、Webサイトでご確認ください。



ここをclick!



各事業の詳細はWebサイトでご確認ください。

<https://kikin.jimu.kumamoto-u.ac.jp>

紺綬褒章

ご寄附が、個人様500万円以上、法人・団体様1,000万円以上の場合、国の褒章制度である「紺綬褒章」の対象となります。「お問い合わせ先」までご連絡ください。※国の審査があります。

銘板の掲示

ご寄附累計額が、個人様20万円以上、法人・団体様50万円以上の場合、ご芳名の銘板を本学の本部棟正面玄関に掲示させていただきます。(掲示希望者のみ)

Webサイト及び熊大広報誌掲載

熊本大学基金Webサイト及び季刊の大学広報誌「熊大通信」にご芳名を掲載させていただきます(掲載希望者のみ)。なお1回あたりのご寄附が1万円以上の場合、寄附金領収書とともに「熊大通信」をお送りします。